

平成21年度 一般会計当初予算説明資料

8款 土木費
 3項 河川海岸費
 3目 砂防費

治山砂防課（内線：7385）
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)砂防えん堤 潜在エネルギー 活用検討事業	4,200	0	4,200	0	0	0	4,200	
トータルコスト	5,029千円（前年度 0円）							
従事する職員数	正職員：0.1人							
主な業務内容	関係機関協議調整、発注・管理							

事業内容の説明

1 事業の背景及び目的

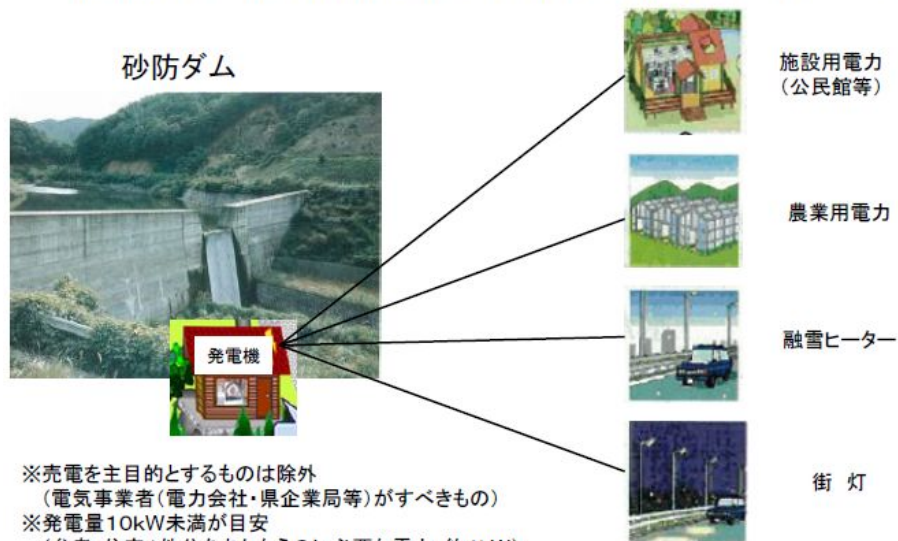
環境先進県を目指して、県民との協働により環境活動を一層推進することを目的として策定した「環境先進県に向けた次世代プログラム」では、地球温暖化防止のため、自然エネルギー等の活用を目標の一つとしている。

このような取り組みの一環として、県内に整備されている砂防ダムからの落水等、活用されていないクリーンエネルギー（水力）の有効利用の可能性を検討し、地域振興につなげることを目的とする。

2 事業の内容

- マイクロ水力発電導入セミナーを開催（耕地課主催）し、関係者のマイクロ水力発電に関する知識を深め、意識啓発を図るとともに、調査候補箇所について、現地概略調査を行い、市町村、地元関係団体等に事業化の意思を確認し、モデル箇所を選定する。
- 選定したモデル箇所について調査・検討を行い、事業実施に向けた検討を行うとともに、マイクロ水力発電のPR資料を作成する。
- 作成したPR資料を活用して、市町村等に対して事業化への啓発活動を行い、市町村等によるマイクロ水力発電施設建設の実現を目指す。

砂防ダムを利用した小水力発電のイメージ



※売電を主目的とするものは除外
 (電気事業者(電力会社・県企業局等)がすべきもの)
 ※発電量10kW未満が目安
 (参考:住宅1件分をまかなうのに必要な電力:約4kW)